

プラネタリウム学習について



プラネタリウムでは、最新のプラネタリウム投影機やビデオプロジェクターを用いて、星や星座、天文現象などを専門スタッフが分かりやすく解説します。

天文分野は学校の授業だけでは理解することは難しい分野なのでプラネタリウムを用いることで、授業では体験できない天体の動きや月の満ち欠け、惑星の動きなどの天文現象をシミュレートすることができます。

プラネタリウム「スターエッグ」について

こども遊学館のプラネタリウム室は、外から見ると白くて丸く、まるで卵のように見えます。このことから「スターエッグ」という愛称がついています。

星を映す機械を投影機といいます。スターエッグの投影機「ジェミニスターⅡ」（コニカミノルタプラネタリウム社製）は、世界ではじめて釧路に設置されました。「ジェミニ」とは双子座の意味で、ランプの光で星を映す「光学式」の投影機と、CGの星や映像を映し出す「電子式」の投影機が2つ寄りそっています。これが、ジェミニ＝双子の名前の由来です。「光学式」投影機は、キラリと輝く26万個の星を映し出し、「電子式」の投影機がダイナミックな動きのある映像を映し出します。

- 座席数 120席（うち、車椅子用スペース3席）
- ドーム直径 15メートル